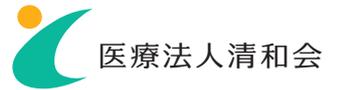


たいざんぼく

水前寺



医療法人清和会

水前寺とうや病院
老人保健施設シルバーピア水前寺
特定施設シルバーピアグランド通り
在宅ステーション水前寺

Vol. 71 2018.1



写真：今村重洋院長、荒川尚子医師、
放射線科・検査科・薬剤科スタッフ

◇新年のご挨拶

◇禁煙治療をすすめてみませんか？

◇健考茶論「垣根 ～コンプライアンスとアドヒアランス～」

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

本年が、皆様にとりまして良い一年でありますように祈念申し上げます。

さて、昨今、医療介護福祉業界の労働力不足は深刻です。日本の人口構成の変化、所謂少子高齢化社会の本格的な到来、それに加えて、最近好況な他業界への労働力の流出が原因と思われます。又、生活環境の変化に伴う大都市圏への人口移動により、地方の若者の数は減り続けています。

幸いなことに、水前寺とうや病院、シルバークリア水前寺、シルバークリアグラウンド通り、在宅ステーション水前寺は、熊本市圏の中央部に位置するため、危機的状况にはありませんが、近い将来を見据えた対策が必要でありませぬ。

AIの活用や外国人労働者の雇用も検討されてはおりますが、先ずは我々の組織がより魅力的になることではないでしょうか。地域の皆様に必要とされる病院を目指すことのみでなく、職員にとつて、より魅力的な組織に育てるかが肝要であると考えます。患者様と

職員の環境整備に重点をおいた新病院の建築を急ぐことは元より、職員の教育制度により力を入れ、安心して働ける環境作りを皆で考え自由に発議できるような制度、雰囲気作りを進めたいと思います。選択と集中を徹底し、より地域密着型の医療福祉介護施設に進化させ、地域の皆様に必要とされ、職員の皆が誇りを持って働ける組織作りに努力します。

未来を見据えて、そして日々を大切に努力を惜しまない医療法人清和会を、本年もよろしくお願い申し上げます。

医療法人清和会

理事長 東野 裕司



新年を迎えて、平素のご厚情に感謝し皆様の「ご多幸」「健勝」をお祈り申し上げます。

今年には院長に就任して四年目に入ります。

幼い頃には鈍行だった月日の流れは、今や新幹線どころかニアモーターカーのようです。三年が過ぎて一区切り、「石の上にも三年」と言いますが、お陰様で私のこの三年は「座布団の上の三年」でした。水前寺とうや病院は前評判どおり歴史と伝統ある人に優しい温もりのある職場で、地域に開かれた病院として地域医療に誠実に貢献している病院です。今年には超高齢社会に向かつて医療介護の同時改定が行われます。「桃栗三年柿八年、柚子の大馬鹿十八年・・・」柚子を真似ずに桃栗にならつて、成熟した実が収穫できるように願っております。

本年もどうぞよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

水前寺とうや病院

院長 今村 重洋



看護部長就任のご挨拶

平成29年12月より水前寺とうや病院の看護部長になりました宮村多嘉子と申します。

私は、平成29年4月から水前寺とうや病院に勤務しています。それまでは、在院日数が9日前後の急性期病院で仕事をしました。

少子高齢社会において、患者さんが住み慣れた地域へ戻り、安心して日々の生活ができるようサポートすることが地域の病院に求められています。慢性疾患と長い間付き合い、生活に密着した患者さんやご家族との関わりが地域にはあると日々実感しています。必要な質の高い医療、看護を提供するためには、



看護部長
宮村 多嘉子

チームで患者さんに関わることが不可欠となります。水前寺とうや病院は、一般病棟、障害者病棟、回復期リハビリテーション病棟の3つの病棟と外来があります。それぞれの特徴に合わせた専門的な知識、技術を持つスタッフの育成に努め、地域の皆様にとって必要とされる病院であり続けるように努力してまいります。

水前寺とうや病院の理念は、「個人の尊重」です。患者さん、ご家族は勿論ですが職員や実習に来られる学生に対しても「個人の尊重」は重要と考えています。個人が成長し、やりがいを持ち、安心して長く仕事ができるよう今後も環境を整えていきたいと思えます。

看護管理者としてまだまだ勉強しなくてはいけないと自覚しております。患者さん、ご家族、地域の皆様、職員に「誠実な対応」をしていきます。これからもうぞよろしくお願いいたします。

第5回 水前寺とうや病院 地域交流懇談会

平成29年11月10日(金)、ホテル熊本テルサにて「第5回水前寺とうや病院 地域交流懇談会」が開催されました。この会は、近隣クリニックの先生方との意見交換、また、医療連携を深めることを目的に平成26年より開催しております。当初はほとんどが近隣クリニックの先生方でしたが、現在では、急性期病院含む医療機関の医療連携に携わる方々にも参加していただいております。

今回は、医療経営コンサルタントとして活躍されている株式会社M&Cパートナーコンサルティング 長幸美氏を講師に迎え、「2018年同時改定の行方(地域包括ケアシステムの実現に向けた地域連携強化の重要性)」と題して講演がありました。医療・介護報酬の同時改定、及び地域包括ケアシステムに関する内容ということもあり、医師・看護師・事務長など111名の方々にご参加いただきました。

講演後の懇談の場では、参加者の皆様との意見交換・交流をさせていただき、大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。



講演 長 幸美氏



「当院の医療連携の現況」の説明
当院 立石秀彦医師



禁煙治療をすすめてみませんか?

2020年に開催される東京五輪・パラリンピックに向けて、日本の禁煙(あるいは受動喫煙)対策が検討されていることを皆さんご存知かと思いません。飲食店なども全面禁煙化する店舗が少しずつ増えている印象ではありますが、国際オリンピック委員会(IOC)と世界保健機関(WHO)はオリンピック開催都市に「たばこのな

い五輪」を求めており、これを機に「世界最低レベル」とされる日本の禁煙・受動喫煙対策が本格化することが期待されます。(図1)

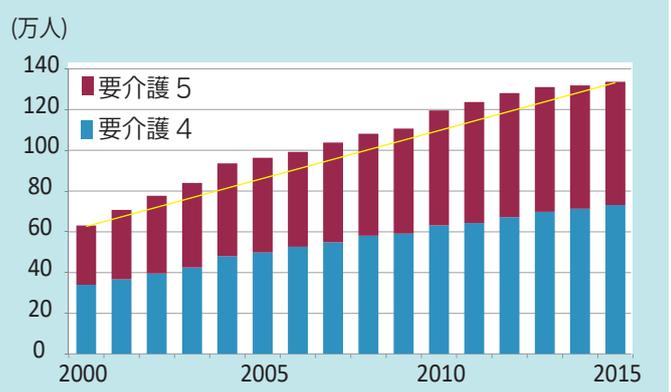
またわが国の高齢化のスピードは著しく、それに伴って介護を必要とする人や寝たきりの人が増えています。厚生労働省の報告によると、2000年には認知症・寝たきり・衰弱などで重度の介護を必要とする人(要介護4、5)は約63万人でしたが、2015年には133万人と2倍以上になっており(図2)、2025年には約200万人に達すると予想されています。

〈図1〉 ■主要国の受動喫煙防止法の施行状況 (2012年時点)

| | | | 各種施設 | | | | | | | | | | 公共交通機関/自家用車 | | | | 公共的施設 | | | |
|-----|------------|-------|------|------|------|----|------|-------|-----|----|------|------|-------------|------|------|------|-------------|-------|--------|-------|
| | | | 官公庁 | 医療施設 | 教育施設 | 大学 | 一般企業 | 業務用車両 | 飛行機 | 列車 | フェリー | 路面電車 | バス | タクシー | 自家用車 | 文化施設 | セショッピングセンター | パブ・バー | ナイトクラブ | レストラン |
| G8 | イギリス | 国法 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ドイツ | 国法・州法 | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ |
| | カナダ | 国法・州法 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | フランス | 国法 | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ |
| | イタリア | 国法 | △ | ○ | △ | △ | △ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | △ | △ | △ | △ | △ | △ |
| | アメリカ (52州) | 州法 | 38 | | | | | 34 | | | | | | | 5 | | 30 | 28 | | 34 |
| G20 | ロシア | 国法 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 日本 | なし | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| | 韓国 | 国法・州法 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | △ | × | △ | △ |
| | 中国 | 国法 | △ | ○ | ○ | - | △ | △ | ○ | △ | - | ○ | △ | - | △ | - | × | × | △ | △ |
| | オーストラリア | 国法・州法 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ブラジル | 国法・州法 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | △ | △ | △ | △ | △ |
| インド | 国法・州法 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | |

WHOが実施した各国の担当者に対するFCTCの実施状況調査より作表
 [○] 完全禁煙 [△] 一部禁煙 [×] 規制なし [-] 無回答
 *1 「喫煙室の容認」がある。(緩和病棟や精神科病棟、ホテルの客室等)
 *2 「罰則」がある。

〈図2〉 ■わが国における要介護者(4・5)の推移



さて、ここまでの記事をご覧の皆さんはきっと禁煙されている方々だと思いますが、周りのご家族や友人などにこの機会に禁煙をすすめてみませんか?
 次に、当院で行っている禁煙外来について、簡単にご紹介します。まずは、ニコチン依存症テストを試してみましょう。

〈図3〉 ■65歳以上の要介護者等の性別にみた介護が必要となった主な原因



たばこは、がん以外にも脳卒中、心疾患、骨粗しょう症、認知症などの全身の疾患のリスクを高めることがわかってきているため、「たばこが寝たきりを招く?」と言っても過言ではありません。(図3)

水前寺とうや病院
 呼吸器内科 副部長
 荒川 尚子

| ニコチン依存症テスト (TDS) | | はい 1点 | いいえ 0点 |
|------------------|---|----------|-----------|
| 問1 | 自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまっていましたか？ | | |
| 問2 | 禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありますか？ | | |
| 問3 | 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまらなくなることがありましたか？ | | |
| 問4 | 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、次のどれかがありましたか？ (イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加) | | |
| 問5 | 問4でうかがった症状を消すために、またタバコを吸い始めることができましたか？ | | |
| 問6 | 重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸うことができましたか？ | | |
| 問7 | タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているのに、吸うことができましたか？ | | |
| 問8 | タバコのために自分に精神的問題が起きているとわかっているのに、吸うことができましたか？ | | |
| 問9 | 自分はタバコに依存していると感じたことがありますか？ | | |
| 問10 | タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか？ | | |
| | | | 点 |

このテストが5点以上であればニコチン依存症と判定されます。ニコチン依存症は病気であるということが認識されるようになり、2006年4月から、一定の条件を満たせば、健康保険等を使って禁煙治療を受けることができるようになります。

その条件は、次の4つです。

- ① ニコチン依存症の判定テストが5点以上
- ② 「1日の平均喫煙本数×これまでの喫煙年数」が200以上
(2016年4月より35歳未満には右記要件がなくなりまし)
- ③ ただちに禁煙を始めたいと思っ
- ④ 禁煙治療を受けることを文書で同意している

以上の条件を満たしていない場合も、自由診療で治療を受けることができます。

健康保険を使う場合、禁煙外来への通院回数は初診を含めて5回、期間は3か月と決まっています。

1日に1箱喫煙する場合

1日のタバコ代を
400円とすると

3か月で約36,000円

禁煙治療に保険が 適用された場合

1割負担で約6,000円

3割負担で約19,000円

禁煙治療に保険が適用された場合の費用のほつがぐつと安くなります。

禁煙サポートチームに見守られながら、3か月間で禁煙を目指す禁煙外来の受診を、あなたの周りの方々にすすめてみませんか？



水前寺とうや病院 禁煙外来

【火曜日・木曜日・金曜日の午後】

予約制となっておりますので、お電話または受付窓口にてご予約ください。

参照 厚生労働省「ヘルスネット、

厚生労働白書(28年)、

内閣府(28高齢者白書)



垣根

～コンプライアンスとアドヒアランス～

水前寺とうや病院で
毎月開催している
土曜健康サロンの
内容を連載しています



火はヒトの生活や文明の発展を支え、古来より
習わしごとにも深く関わって来ました。お正月に
は年神さまの依り代として注連(しめ)飾りを玄
関に飾るのが習わしで、幕の内が明けると河川敷
等でどんどや(どんど焼き)が開かれ、一年の無病
息災を祈りながら注連飾り等を燃やす、毎年繰
り返されている行事です。

また小学校の時に『かきねの、かきねの、まが
りかど、たきびだ、たきびだ、おちばだき・・・』
とどこことなく暖かみを感じる童謡『たきび』を歌
いながらサツマイモを焼いた遠い記憶がありま
す。近年は安全性の確保が難しいとか、ダイオキ
シンの問題等で日本の懐かしい火の伝統も年々
肩身が狭くなっています。垣根も、ひと昔前は防
災・防犯のために家の周囲を庭木等で囲い、作ら

れていましたが、最近はブロック・コンクリート・
鉄筋の塀が一般的となり、強度・防犯性は増しま
したが、隣近所との垣根は高くなり、関係の希薄
さが増した印象です。

○医療者中心から患者中心へ

さて日々の診療は、その都度契約書は交わしま
せんが、患者さんと医療者の結び付きの上に成り
立っています。

以前の医療は医療者を中心に進められてきま
したが、高齢者の増加や医療の多様化・高度化も
相まって患者さんを中心としたチーム医療(患者
中心の医療)に移行しています。チーム医療とは
患者さんを中心に置いて医師、看護師、薬剤師、リ
ハビリスタッフ、栄養スタッフ、医療ソーシャルワ
ーカーなどの多職種がお互いに協力し、患者さんを
サポートするシステムです。

高齢社会を迎えて医療界は入院から在宅へ大
きく舵を切っており、医療チーム⇄介護チーム間
の垣根を無くした橋渡しも益々重要になって来
ています。ただこのシステムで忘れてならないの
は、医療サイドからの「させられにならないよう



どんどや

低体温に注意

水前寺とうや病院

管理栄養士 福井翔吾



自分の平熱を知っていますか？

一般的に平熱は36.5～37.0℃が理想とされています。
体温が36℃未満であることを低体温といい、低体温は
①免疫力の低下②基礎代謝の低下③血行不良などを
来し、身体に悪影響を与えます。また低体温により
身体能力は低下し、転びやすくなります。

こんな生活をしている方は要注意！

低体温の原因には脳の機能不全や甲状腺機能不全、
貧血などがありますが、生活習慣も大きく影響して
います。運動習慣がない、生活が不規則、ストレスが多
い、喫煙している、食事が偏っている、こういった生活
習慣がある方は低体温になるリスクがあります。

低体温を防ぎましょう

- ① 40℃のぬるめのお湯にゆっくりつかりましょう。
足湯も効果的です。
- ② 薄着や腰回り・首・足首を冷やさぬよう防寒対策を
しましょう。
- ③ 運動で筋肉を増やしましょう。体内で熱を作り出す
のは、6割が筋肉だと言われています。運動で筋肉量
を増やし、熱をしっかりと生み出す体を作りましょう。
低体温の方はサルコペニア(筋肉量減少)予備軍か
もしれません。
- ④ 食事で体を温めましょう。

に患者サイド(家族も含めて)も自分の状態を理解・把握し、目標を持ってチームとして自立協力することです。特にリハビリ効果を大きく引き出すためには患者さんの意識・意欲に依存する所が大きく、させられリハビリでは思うような成果が得られません。

○コンプライアンスからアドヒアランスへ

医療費高騰や高齢社会を背景に表面化してきた問題に残薬、ポリファーマシー(多剤服用)があります。入院してこられる患者さんの中にはスーパリーのレジ袋いっぱい薬を持参される方が時にいらつしやいます。調べてみると一年以上前に処方された薬も混ざっており、内服していないことが窺えます。これらの特徴は高齢者の一人暮らし(もしくは高齢者夫婦世帯)で、日常生活には支障の無い程度の認知・注意機能障害があります。加えて高齢者は複数の疾患が併存することも多く、複数の診療科・クリニックを受診することで多剤処方となり、残薬に繋がるケースも多いようです。

私が研修医の頃は、患者さんの服薬状況は服薬コンプライアンスと表現されていました。コンプライアンスとは基準・規律を守るとの意味があり、企業等がルールを守って活動する時に用いられます。ただ患者中心の医療においては『服薬を規則正しく行いなさい』の意味合いは医療者側の上から目線のイメージであることから不適切な表現であると考えられるようになり、替わって内服の定着を意とする服薬アドヒアランスを用いるのが一般的となりました。

私も高血圧症や糖尿病等の生活習慣病に対し

て内服薬を処方します。降圧薬は血圧を下げる薬、糖尿病治療薬は血糖を下げる薬ですが、本来の目的はその先にある高血圧、高血糖で起こりうる合併症(脳卒中、心臓病、腎臓病、網膜症など)を抑えることにあります。内服を中断される方は『どうもないから』と言われることも多いですが、生活習慣病の多くはどうかあった時(症状が出たとき)には時既に遅しのこともしばしばです。

アドヒアランス不良は医療者側にも問題があり、限られた診療時間内で事細かく十分な説明が出来ていない現実もあります。ただ残薬が少ない患者さん(アドヒアランスの良い)は多い患者さんに比較して予後が良いとの報告も有り、高齢社会で効率的な医療実践において双方で真剣に取り組まないとならない火急の課題なのです。

○垣根の低い関係を目指して

患者さんに『薬の残りはありますか?』と時々尋ねるのですが、アンケートによると、主治医に『きちんと内服している』と答えた患者さんも実は残薬ありとの結果もあります。本当の事を言うて怒られるからと考えているのでしょうか?どうも患者・医療者間の垣根の高さを感じます。患者中心の医療をより良い方向に導くために医療者側はコンプライアンスを遵守し、出来るだけ患者さんのアドヒアランスが向上するように双方の垣根を低くしたいと考える次第です。

ラニーニャ現象の煽りか?寒く乾燥した日々が続きます。呉々もインフルエンザには御用心を。手洗い、うがい、栄養管理・体力維持に努めてください。

体を温める食生活

- ・1日3食、規則的な食生活
- ・主食・主菜・副菜の揃ったバランスの良い食事
- ・よく噛んで食べる
- ・体を温める食品を積極的に摂る
- ・体を冷やす食品は加熱して食べる

体を温める食材

香味野菜
にんにく、しょうが、ねぎなど
冬が旬の野菜
かぼちゃ、やまいもなど
寒冷地で育つ果物
りんご、ぶどう、ももなど
根菜類
発酵食品など

体を冷やす食材

葉菜類
レタス、キャベツ、白菜など
夏が旬の野菜
トマト、キュウリ、ナスなど
南国で育つ果物
バナナ、パイナップルなど
砂糖
牛乳、コーヒーなど

体を温める簡単レシピ

○生姜スープ

材料

- A おろし生姜・・・少々
鶏ガラスープの素・・・小さじ1
小口切りにしたねぎ・・・少々
お湯・・・150ml

作り方

Aをコップ(お椀)に入れてお湯を注ぐ



シルバーピア水前寺 —デイケア（通所リハ）—

シルバーピア だより



おいしかった！！ お寿司に舌鼓



宮崎厚男組合理事長

平成 29 年 11 月 14 日熊本県鮭商生活衛生同業組合の方々による訪問ボランティアがありました。

日頃なかなか外出できない皆さんに味わって頂きたいとのことで、お寿司を振舞っていただきました。参加されたご利用者は、寿司職人さんが目の前で握ってくださるお寿司を楽しめました。



天使のうた声&演奏 に感動！！

平成 29 年 12 月 18 日（月）九州音楽幼稚園の訪問演奏会がありました。

かわいい園児たちが日頃の練習の成果を見せてくれました。大きな声で歌う姿に利用者さまも手拍子を打ちながら楽しまれました。



大根づくりを始めました



昨年に続き、大根作りに挑戦しています。

ペットボトルに土を入れ種をまき、育てていきます。寒い時期でも大きな大根が育つように、手作りのビニールハウスを作りました。収穫の時が楽しみです。



忘年会開催

年末も押し迫った12月19～21日にかけて、平成29年最後の食フェアを開催いたしました。今回のテーマは「忘年会」!!お刺身や天ぷらなどお酒に合う料理(お酒と言ってもノンアルコールですが…)をお出しして、会場も居酒屋の雰囲気を出してみました。皆さん、美味しい料理に舌鼓を打ちながら一年の労をお互いにねぎらい合い、楽しんでいただきました。



乾杯のご発声を頂きました



提灯の下で一杯!



昔懐かしのポスターで雰囲気づくり

シルバーピア水前寺 —入所—

認知症サポーター養成講座

昨年末に、ささえりあ江津湖からの依頼で認知症サポーター養成講座の講師を務めてきました。地域でボランティア活動をしている方や、民生委員の方などが専門知識を得て、具体的な関わりを学びたいと熱心に参加されていました。認知症が病気であることや、目線を合わせたゆっくりした対応、「笑顔の種まきはじめよう」を合言葉にこれからも認知症サポーターの輪を広げ、認知症高齢者の方々が地域で安心した生活が出来る様に活動を続けていきたいと思っています。



介護福祉士 中原清美

紅葉ツアー に行って来ました

平成29年11月16日から28日にかけて紅葉ツアーを行ないました。熊本県庁の銀杏並木は見頃を迎え、日に照らされた銀杏の葉はとても綺麗に黄色く色付いていました。少し肌寒くも感じましたが天候にも恵まれ、みなさん銀杏並木の素晴らしさに感激され、しばらくの間散策を楽しまれました。「日の光があたって絵葉書みたいに綺麗ですね」、「落ち葉は黄色い絨毯みたい」と季節を感じていただくことが出来ました。「本当に綺麗だった、来年もよろしくお願ひします」と、さっそく次年の紅葉ツアーを期待される声も聞かれました。今年も、この季節でしか味わえない「紅葉ツアー」必ず企画したいと思います。



シルバーピアグランド通り —特定施設—



地域交流推進室

特定施設シルバーピアグランド通り内

TEL.096-284-1025

私たちは、清和会の基本方針に基づき、地域の皆さまが住み慣れたこの地域で安心して過ごしていただけるよう、様々な活動のお手伝いをさせて頂いております。今回は、看護部と栄養科による講話と地域イベントへの参加の様子をお伝えします。

11月22日（水）

出水校区 心と体のイキイキ教室

女性参加者ばかりの中、日頃注目されにくい「足」についての講話が和気あいあいと始まりました。

「第2の心臓」とも言われる足ですが、足裏は、からだの2%の面積で全体重を支えているため、きちんとお手入れが必要とのこと。

正しい爪の切り方や正しい靴の選び方などの話のほかに、足首ストレッチや、踏ん張る力を養い転倒予防にもなる足の指を広げて伸ばす体操「ひろのば体操」などの実演指導もありました。

「とても楽しかった。ためになりました。今日から続けようと思います。」と感想を述べられ有意義な時間となったようです。

「足元から健康を考える
～フットケア～」
講師：看護部3病棟
島崎看護師、河野看護師



ひろのば体操

11月25日（土）オレンジカフェ

水前寺公園参道にある健康ふれあい広場で開催されたオレンジカフェで水前寺とうや病院栄養科岩崎管理栄養士の講話がありました。「からだにやさしい食べ物と料理」という内容で、

■風邪や胃腸炎などで胃腸が弱っている場合は、脱水にならないために飲み物や果物や野菜の煮汁の入ったスープで水分や塩分・糖分を少しずつ補う

■熱がある場合は、うどんや根菜スープで体を温め、発汗を促す

■ストレスや疲れが気になる場合は、うなぎやアボカドやアーモンドなどの抗酸化ビタミンを摂って免疫力を高める

など体調が悪いときの食事のポイントについての分かりやすい内容でした。続いて、出水南校区の方を講師に、干支「戌」のキーホルダー作りがありました。最後は、シナモンの香りが漂う栄養科手作りの焼きりんごパンケーキをお供に、楽しいティータイムを過ごしました。



今後の開催予定については、ささえりあ水前寺さん (TEL.362-0065) までお問い合わせください。



11月25日（土）砂取コミセンまつり

砂取地域コミュニティセンターで創立20周年記念砂取コミセンまつりが行われました。水前寺とうや病院栄養科手作りの杏仁豆腐もおもてなし協力として参加いたしました。



12月3日（日）餅つき会

競輪場通り商栄会の餅つき会がありました。清和会から餅のつき手6名と餅袋詰め1名として、協力参加いたしました。いつもより多めの餅米に、パワーのある職員も最後にはバテ気味でしたが、美味しいお餅がつかえました。



ユニフォーム
リニューアル

1月1日より、看護部のユニフォームが新しくなりました。どちらも軽くて通気性が良く、着心地がよく動きやすいです。新しい制服で看護部一同、気持ちを新たに頑張っていきたいと思えます。



看護師はピンクとエンジ、ブルーの3色。ピンクとエンジの右ポケットには可愛らしい花の刺繍がついています。

介護士はスカイブルーでさわやかです。

清和会×砂取5町内 地域交流

餅つき会

12月16日、水前寺とうや病院B駐車場にて、砂取5町内の子ども会、自治会、有隣会の皆さま86名と清和会職員で地域交流餅つき会を行いました。

蒸し場では、自治会と職員が、餅米を蒸しあげ、餅つき場では、子どもたちと職員の元気のいい声が響きわたり、餅まるめ場では手際のいい有隣会が餅をちぎり、ちぎった餅を子ども達がまるめる交流の場となりました。

天気心配もありましたが、途中で雨が降ることはなく、最後には参加者で、栄養科特製のぜんざいを食べて、笑顔で無事に終わることができました。



清和会データ

(平成29年9月～平成29年11月)

| | | | |
|-------------|-------|------------|---------|
| 水前寺とうや病院 | 外来 | 延べ患者数 | 5,484人 |
| | | (一日平均) | 81.8人 |
| | 入院 | 延べ患者数 | 11,855人 |
| | | (一日平均) | 130.3人 |
| | | 在宅復帰率 | 88.0% |
| 地域包括ケア病床 | 88.0% | | |
| 回復期リハ病棟 | 77.4% | | |
| | | 一般病棟平均在院日数 | 15日 |
| シルバーピア水前寺 | 入所 | 延べ利用者数 | 6,121人 |
| | | (一日平均) | 67.3人 |
| 在宅ステーション水前寺 | 訪問看護 | 延べ訪問人数 | 793人 |
| | | (一日平均) | 11.8人 |
| 在宅ステーション水前寺 | 訪問介護 | 延べ訪問人数 | 2,491人 |
| | | (一日平均) | 27.4人 |

在宅復帰率は、平成29年6月～平成29年11月を算定基礎としています

医療法人清和会ボランティア交流会

11月16日(木)に、松屋別館にてボランティア様20名に参加して頂き、職員12名の計32名にて、平成29年度医療法人清和会ボランティア交流会を行いました。



最初はみなさん緊張されている様子でしたが、徐々に打ち解けていかれ、ボランティア様、職員が日頃の活動内容や各施設について紹介しながら積極的に交流される光景が見られました。ボランティア様との交流を深めることができましたと貴重な時間となりました。

医療法人清和会忘年会

12月1日(金)に、熊本ホテルキャッスルにて、平成29年とうや病院グループ忘年会が開催されました。

今年は職員・来賓合わせて約560名の方々にご参加いただき、おいしい料理やお酒に舌鼓を打ちながら余興や会話を楽しまつ、1年の労を労いました。



次号のたいざんぼくは

平成30年4月発行予定です。

ご意見・ご要望・ご感想などございましたら、どんなことでもお気軽にお寄せください。

〈発行日〉平成30年1月22日

〈発行〉医療法人清和会(水前寺)広報部 TEL.096-384-2288

水前寺とうや病院

| | | | |
|-------------|--------------------------------------|------------|------------|
| 診療科目 | 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・リハビリテーション科 | 休診日 | 土曜午後・日曜・祝日 |
| 受付時間 | 午前 8:30～11:30 午後 13:00～17:30 | | |
| 診療時間 | 午前 9:00～12:00 午後 13:30～18:00 | | |

お問い合わせ・外来予約は ▶▶ ☎ 096-384-2288

【水前寺とうや病院 外来担当医師表】

平成 30 年 1 月 20 日現在

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|---------------|----------|----------|----------|----------|-----|
| 午前 | 呼吸器内科・内科 | 神経内科・内科 | 循環器内科・内科 | 消化器内科・内科 | 循環器内科・内科 | 担当医 |
| | 中西 美智子 | 今村 重洋 | 松永 敏郎 | 松ヶ迫 貴 | 外村 洋一 | |
| | 循環器内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | 神経内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | |
| | 松永 敏郎 | 福田 安嗣 | 荒川 尚子 | 長谷川 智子 | 中西 美智子 | |
| | リハビリテーション科・内科 | 循環器内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | |
| 東野 孝治 | 外村 洋一 | 彌永 千絵子 | 立石 秀彦 | 濱本 淳二 | | |
| 内視鏡 | 松ヶ迫 貴 | | 松ヶ迫 貴 | | | |
| エコー | 松ヶ迫 貴 | | 松ヶ迫 貴 | | | |
| 午後 | 内科 | 呼吸器内科・内科 | 神経内科・内科 | 整形外科 | 消化器内科・内科 | 担当医 |
| | 依光 里香 | 中西 美智子 | 寺本 仁郎 | 有住 裕一 | 松ヶ迫 貴 | |
| | 循環器内科 | 内科 | 内科 | 呼吸器内科・内科 | 呼吸器内科・内科 | |
| | 熊本大学 | 依光 里香 | 依光 里香 | 荒川 尚子 | 立石 秀彦 | |
| | | 整形外科 | | 内科 | 整形外科 | |
| | 森 修 | | 依光 里香 | 森 修 | | |

点線で切り取って折りたたむと診察券サイズです

- (禁煙外来) 火曜日・木曜日・金曜日の午後(予約制)
- (睡眠時無呼吸症候群外来) 金曜日の午後
- 診察券に記載されている予約日をご確認の上、ご来院ください。
- 企業様の健診も行っております。●産業医お引き受けいたします。

理念

IDENTITY(個人)の尊重

～FOR YOU あなたののために～

基本方針

1. 私たちは、すべての職種において、基本理念の理解と実践に情熱を持って取り組み、患者さまの権利と意思を尊重し、真の利用者中心のチーム医療およびケアを提供します。
2. 私たちは、保健・医療・福祉が一体となった、質の高い医療および介護サービスを提供し、開かれた病院・施設として地域の皆さまが高齢になっても安心して地域で過ごしていただけるよう、信頼される病院・施設を目指します。
3. 私たちは、常に日々の研修、研鑽に励み、技術と知識の習得に努めるとともに、地域の医療機関・施設・事業所との連携を図り、地域の皆さまに密着した安全で質の高い保健・医療・福祉サービスを提供します。
4. 私たちは、良質な医療サービスを提供するために健全なる経営活動を行い、安定した経営基盤を構築します。

患者さまの権利

1. 公平で適正な医療を受ける権利
2. 医療上の情報、説明を受ける権利
3. 十分な説明のもと自分自身の治療を決定する権利
4. プライバシーが保障される権利
5. 個人の尊厳が保障される権利



老人保健施設

シルバーピア水前寺

水前寺とうや病院
併設

☎ 096-384-3399



〒862-0950 熊本市中央区水前寺5丁目2-22

E-mail:seiwakai@tohya.or.jp ホームページ http://www.tohya.or.jp

| | | |
|--------|------------------|--------|
| 最寄のバス停 | 水前寺本町(水前寺とうや病院前) | 徒歩 0分 |
| | 北水前寺(熊本県青年会館前) | 徒歩 3分 |
| | 北水前寺(北水前寺五差路付近) | 徒歩 3分 |
| 市電 | 国府電停または水前寺公園電停 | 徒歩 10分 |
| JR | 水前寺駅 | 徒歩 12分 |

特定施設 シルバーピアグランド通り(サービス付き高齢者向け住宅)

〒862-0951 熊本市中央区上水前寺1丁目6-5
☎ 096-386-0020

シルバーピア
グランド通り
施設内

在宅
ステーション
水前寺

居宅介護支援事業所 ☎ 096-384-3119

訪問看護事業所 ☎ 096-384-5580

訪問介護事業所 ☎ 096-384-2771

地域交流推進室 ☎ 096-284-1025

平成とうや病院

| | | | |
|-------------|--------------------------------------|------------|------------|
| 診療科目 | 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・リハビリテーション科 | 休診日 | 土曜午後・日曜・祝日 |
| 受付時間 | 午前 8:30～11:30 午後 13:00～17:00 | | |
| 診療時間 | 午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:30 | | |

お問い合わせ・外来予約は ▶▶ ☎ 096-379-0108

〒862-0963 熊本市南区出仲間8丁目2-15